中学校　第２学年　学級活動〔立志式前に実施すると効果的です〕

【動画コンテンツ「おしえてよのなか先生（水永さん）」を用いた授業展開例】

動画コンテンツの使用に関して

**動画コンテンツについて**

使用する動画コンテンツは、宮崎県キャリア教育支援センターのトータルコーディネーターである水永正憲さんが、よのなか先生として、「進路選択について」「多様な働き方」「これからの社会について」「自分にとって幸せとは」などについて語っています。

**授業展開におけるキャリア教育の視点**

授業では、立志式を迎える生徒が、これまでの自分の生き方や学習の成果を振り返るとともに、将来の生き方に関する意識を高めることにつながるよう、よのなか先生の動画コンテンツを用い｢人生の先輩からのメッセージ｣を聞いたり、「今、大切なこと」を考えたりする活動を行います。動画コンテンツは、一人の人生の先輩からのメッセージであり、生徒が自分自身の今、そして将来を考えるためのツールとしてご活用ください。

事前指導として、キャリア・パスポート等を用いて学びや成長を振り返る時間を設定していますが、学校や学年、学級の実態に応じて各教科等や総合的な学習の時間のファイル等、学びの蓄積に関する教材を用いてください。

《全体の構想》

**〈学級活動〉2時間扱い**

よのなか先生の動画コンテンツを活用し、将来のために今やっておくべきことについて考える。

**〔（３）－ウ**

**主体的な進路の選択と将来設計〕**

**〈総合的な学習の**

**時間等〉**

立志式での決意表明の準備をする。

**〈帰りの会〉**

キャリア・パスポート等を用い、これまでの学びや成長を振り返る。

１　　題材名　　「主体的な進路の選択と将来設計」

２　　題材の目標

1. 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解

するとともに、現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考え、自分らしい生き方の実現を図るために必要な知識及び技能を身に付ける。

1. 自分らしい生き方の実現に向け、主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること

について適切な情報を得ながら考え、将来像を描き、社会の一員として自分の役割を自覚した上で、現在の生活の中での目標を設定することで意思決定し実践できるようになる。

（３）将来の生き方を見通したり、現在の生活や学習を振り返ったりしようとする。

３　　使用する教材

（１） 動画コンテンツ　：　「おしえてよのなか先生（水永さん）」（9分３０秒）

（２） ワークシート　　：　学級活動【おしえてよのなか先生（水永さん）】ワークシート

４　 本時の目標

1. １時間目

よのなか先生の動画コンテンツ視聴をもとに、働くことや社会に貢献することについて考え、

自己の将来像を描くことができる。

（２） 2時間目

　　現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考え、一人一人が目標を設定し、意思決定できる。

５　学習指導過程

（１）１時間目

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 学習内容及び学習活動 | 指導上の留意点 | 評価 | 資料・準備 |
| 導入  （５） | １　社会の変化を把握する。  ２　本時の学習課題を設定する。  本時の学習課題　　　　　自分にとって、理想の将来とはどのようなものだろうか。 | 〇　現在と過去の職業や社会情勢等を比較することにより、生徒が生きている社会の変化について、できるだけ視覚的に伝える。  （例：今あって10年前にはなかったもの等）  加速度的に変化する世の中の変化や職業、必要となってくるスキルなどについての発問等で、将来を自分事として捉えられるようにします。   * 動画コンテンツの視聴を通して、自分の将来について考える時間であることを伝える。 |  | 写真等 |
| 展　開  （40） | ３　動画コンテンツを視聴する。（9分３０秒）  ４　自分の意見をまとめる。  ・よのなか先生のどんな言葉が印象に残りましたか。また、なぜその言葉が心に残りましたか。  ５　グループ（３～4人）に分かれ、一人ずつ選んだ言葉とその理由について述べ、話し合う。  ６　話合いやキャリア・パスポートをもとに将来をどのように生きていたいか考える。  　・自分にとって理想の将来とはどんなイメージでしょうか。また、今の自分が達成できる確率は何％でしょうか。 | * 必要に応じてメモを取らせる。   〇　よのなか先生の印象的な言葉を選んだ理由を考えさせることを通して、自分の思考を整理させる。  〇　動画コンテンツの視聴だけでは不十分な生徒には、動画コンテンツ中の言葉を提示して支援する。    言葉の例は、本資料（展開例）４ページに示しています。  〇　選んだ言葉と理由を語り合うことにより、現在の生徒自身が考え得る理想の将来について考えるきっかけにする。    グループ活動を入れることで、他者の多様な考えを知り、他者の個性を理解することだけでなく自己理解にもつながります。   * 話合いやこれまでのキャリア・パスポートの   記述をもとに自分自身の意見をまとめさせる。  〇　理想の将来に対する自分の現在の状態を認識するために、数値化して表現させる。    　一人一人のキャリア形成の段階に応じた記述ができるように配慮し、将来を見通せるようにしましょう。 | よのなか先生の動画コンテンツ視聴をもとに、働くことや社会に貢献することについて考え、自己の将来像を描くことができたか。（ワークシート） | 動画コンテンツ  ワークシート  ワークシート  キャリア・パスポート |
| まとめ  （５） | ７　本時の振り返りをする。 | * 本時の学習を振り返るとともに、次時は、自   分の理想の将来に向けて今の自分に大切なことを考える時間であることを伝える。 |  |  |

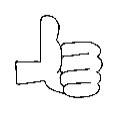
（２）２時間目

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 学習内容及び学習活動 | 指導上の留意点 | 評価 | 資料・準備 |
| 導入  （５） | １　前時の振り返りをする。  ２　本時の学習課題を確認する。 | * ワークシートの記述を振り返らせ、理想の将   来を把握させるとともに、本時は達成確率を上げていくための作戦を立てる（意思決定をする）時間であることを伝える。 | 本時の学習課題　　私達の未来のために、今、やっておくべきことは何だろうか。 | 前時のワークシート |
| 展　開  （40） | ３　理想の将来を生きるために、自分自身にとって今大切なことを考える。   1. 目標管理シート   の例を見て記入の仕方を知る。   1. 将来の見通しを   立てる。  ４　自分の立てた将来  の見通しを、発表する。 | 〇　夢を実現した人物、夢に向けて努力している人物の目標設定等をモデルとして示すことで、将来の生き方に向けての見通しを立てさせる。  〇　目標管理シートの記入例を示すことで、具体的な書き方を理解させる。    　理想の将来を記入できない生徒に対しては、無理に目標を設定させるのではなくワークシート②‘のように自分の幸せや大切なことを想起させ，なりたい自分になるためにがんばること等を書かせてもいいです。    　授業を行う先生ご自身のマンダラートの例や、過年度に目標を立てた生徒のワークシート等具体例があればより活動しやすくなります。    今回のマンダラートは、簡易版です。記入した８つの要素をさらに細分化させて、思考を広く深めていく作業を入れる等、生徒の実態に応じて実施してください。  〇　将来の捉え方は、生徒個人のキャリア発達により違うため、全ての枠を完成させることが目的にならないように配慮する。  〇　お互いの意見を尊重して聞ける雰囲気になる配慮として、否定的な反応をしないことなどを事前に生徒に伝える。 | 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考え、一人一人が目標を設定し、意思決定できたか。（ワークシート、観察） | ワークシート  （目標管理シート） |
| まとめ  （５） | ５　本時の振り返りをする。 | * 本時の学習を振り返る（感想や気付きの記   入）とともに次時の活動内容（立志式に向けて）を確認する。 |  | ワークシート |

✏　他の活用例

〇　卒業式を間近に控えた生徒に対して、3年間の学びや成長を振り返る学級活動として視聴する。（学習後に、キャリア・パスポートの記入と関連付ける活用もできます。）

〇　1年生や2年生の早い段階で、自分の将来と向き合う時間が設定されると、より柔軟に実施いただけます。



〈キーワードを提示する際の例〉

